

学部名	文学部
学科名	人間科学科

文学部のディプロマポリシー	文学部のカリキュラムポリシー	文学部のアドミッションポリシー
<p>【学位授与の前提となる教育理念と目的】 奈良女子大学文学部は、人間という存在を深く理解し、社会を総合的に鋭く認識する女性の育成を目指します。幅広く深い教養のもとに、人文社会科学、言語文化学科、人間科学科で展開する諸分野に関する学修を通じて、専門的知識や技能を身につけ、主体的に課題を発見、分析、解決する実践力を養います。そして、グローバルな視点から自分の考えを的確に表現、発信できる積極的な人材を育成します。</p>	<p>【文学部のカリキュラム構成】 奈良女子大学文学部では、入学後に学生自らが学科・コースを選択していく制度をとっています。2年次から学科に所属し、3年次にコースを選択します。文学部の専門科目として「学部共通科目」「学科科目」を開講します。「学部共通科目」(基礎演習、概論等)では、専門分野の基礎的な知識を獲得するとともに、情報リテラシーやコミュニケーション・スキルを養います。2年次以降に履修する「学科科目」(特殊研究、講読、演習、実習等)では、自身の課題を探究するための深い専門性を身につけます。 最終年次に、これらの学びの集大成として卒業論文を作成します。</p>	<p>【文学部の教育理念】 21世紀の日本社会は、複雑で困難な諸課題に直面しています。奈良女子大学文学部では、とくに人間と社会にかかわる諸問題に取り組み、解決に導く能力を身につけるための高度な専門教育を推進しています。豊かな知性と感性を持ち、主体的に学び実践する女性が日本の社会を変えていくことを確信して、文学部では「社会への鋭い認識」「国際的視点に立った思考力」「人間への深い理解」を育むことを教育理念としています。</p>
<p>【身につけるべき力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感受性と鋭い洞察力をもち、人間とは何かについて深く考える力 ・社会における諸事象を俯瞰し、批判的にとらえ、的確に判断する力 ・歴史・文化・言語・地域についての確かな認識のもとに、自らの考えを発信する力 ・主体的に課題を発見・分析し、解決に取り組む力 	<p>【文学部の教育内容と方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化に対する理解を深め、国際社会を視野に入れた思考ができるよう、2カ国語以上の外国語を習得します。 ・大学における多様な学問に触れ、幅広い教養を身につけるため、大学の教養教育の理念に基づき、4年の学修期間を通して教養科目を履修します。 ・文学部での学びの導入として、1年次での「基礎演習」や「学ぶことと女性のライフスタイル」の履修を通じて、自ら問題を発見し論理的に思考する力を養います。 ・演習、実習等では、少人数の履修者による主体的・協働的な深い学びをつみ重ねながら、専門的スキルを高めます。 ・幅広い視野を獲得し、学際的な研究テーマに取り組むことを可能にするため、「学科科目」の大部分は、他学科の学生も自由に履修することができます。 ・文学部が取り組む「なら学プロジェクト」「ジェンダー言語文化学プロジェクト」関連科目の履修により、さまざまな学問的アプローチによる最新の研究成果に触れることができます。 ・「卒業論文」は、全学科・全コースで必修です。 ・「卒業論文演習」では、専門的知識に基づいて課題を発見・解決するプロセスを履修者全員で共有し、ひとりひとりが的確な「ことば」で論理的に説明する能力を高めます。 ・6年一貫教育プログラムでは、学部から大学院博士前期課程まで継続的に研究を行うとともに、留学などの学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。 	<p>【文学部の求める学生像】 上記の教育理念にもとづき、文学部は次のような学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な知識のもとに、ものごとを論理的に表現する学力を培ってきた人 ・多様な文化、現象に関心を持ち、自分自身で課題を見つけ出そうとする人 ・教師や友人たちとともに学び、相互理解と共感を通じて、人間的な豊かさを求めようとする人

人間科学科のディプロマポリシー		人間科学科のカリキュラムポリシー		人間科学科の学習成果				
【学位授与の前提となる教育理念と目的】 人間科学科は、社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点を合わせ、人間の存在と形成について総合的に研究・教育を行うことにより、一人ひとりの人間が充実して生きることのできる社会と文化の創造に貢献できる人材の育成を目的としています。哲学、教育学、心理学、音楽、身体文化学の諸分野の学修を通して、人間とはいかなる存在であるかについて広くかつ深く学びます		【人間科学科のカリキュラム構成】 本学科には、哲学、教育学、音楽、身体文化学の4領域からなる教育学・人間学コースと、基礎から応用まで総合的に心理学を学修する心理学コースの二つの履修コースがあります。いずれかのコースを履修することになりますが、「子ども学」関連の科目が両コースに開設されているように、学生の問題関心に応じてコースの枠を超えた履修を可能にするカリキュラム構成になっています。		(◎=学習成果を上げるために履修することが特に強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)				
【身につけるべき力】 ・人間の存在と形成・行動に関する専門的理解に基づいて論理的に思考する力 ・確かな根拠に基づいて問題を発見し、分析する力 ・他者と協働して問題解決にあたるコミュニケーション能力		【人間科学科の特色ある教育内容と方法】 ・上記の4領域からなる教育学・人間学コースは、文献研究をはじめ調査や観察など様々な研究方法が用いられていることに特徴があります。そのために、「教育学・人間学実習」や「研究演習」等において各領域の研究方法を学修することが重視されています。 ・心理学コースは、発達心理学、認知心理学、社会心理学、教育心理学を中心に基礎と応用の両面から心理学を学修します。そこでは理論と同時に、観察、面接、調査、実験といった研究方法の学修が重視され、「実習」をはじめ、「特殊研究」や「演習」においても研究方法に関する多くの科目が開設されています。また、支援や教育の現場での参観や体験を通じて実践的な能力の習得を目的とした科目も設けられています。		教養 異文化に対する理解を深め、国際社会を視野に入れた思考を身につける	専門性 人間の存在と形成・行動に関する専門的理解に基づいて論理的に思考する力	創造性 確かな根拠に基づいて問題を発見し、分析する力	創造性 他者と協働して問題解決にあたるコミュニケーション能力	
カリキュラム								
科目番号	授業科目名	学習目標	対象学生	開講期	教養	専門性	創造性	
1100001B1	基礎演習A	「大学で自ら学ぶ」ためには、自ら知的な好奇心を持てるようになることが最も重要なことである。そのために基礎演習では「自ら問題を発見し解決する能力」と、それを表現し、他者に伝える「コミュニケーションする能力」の「大学で自ら学ぶ」ためには、自ら知的な好奇心を持てるようになることが最も重要なことである。そのために基礎演習では「自ら問題を発見し解決する能力」と、それを表現し、他者に伝える「コミュニケーションする能力」の二つの能力を身につける。前者については、文献の収集と講読、フィールドワークなどを行い、資料やデータを集める能力、さらにそれらを批判的に読み解き、自ら思考する力がその基礎となるだろう。後者については、自分の考えをレジュメや文章として表現し、また人前で発表する能力、さらには、他者の意見を理解する能力がその基礎となるだろう。基礎演習とはこうした諸能力を身につけるための授業であり、これらはA~Hに共通の目標である。	1回生	前期	○	○	◎	◎
1100002B1	基礎演習B		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100003B1	基礎演習C		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100004B1	基礎演習D		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100005B1	基礎演習E		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100006B1	基礎演習F		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100007B1	基礎演習G		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100008B1	基礎演習H		1回生	前期	○	○	◎	◎
1100097A1	子ども学概論	1. 教育心理学の基礎的知識（動機づけ、学習方略など）について理解できる。 2. 学校現場でのアセスメントと心理的支援の方法についての基礎的知識を得る。 3. 学校で生じうる問題について、心理学的な観点から考察することができる。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎		

1100025A1	社会心理学 概論 A	学生は社会心理学の基礎的な知見や理論を学び理解する。そして対人関係や社会の中での人間のあり方に関して自ら問いをたて、考える力を身につける。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1100098A1	哲学概論	パブリックアートをひとつのメディアとして捉え、「認識と実在」、「知覚と身体」、「歴史と記憶」、「公共性と社会」、「コミュニケーションと共同体」、「美的経験と人間形成」など、哲学の基本問題と基本概念についてアートを通して学ぶとともに(知識・理解)、そこで得られた視点・観点に基づいて、人間と社会の在り方について考える力を身につける(汎用的技能)。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1100100A1	教育学概論 I	教育、人間形成の諸問題への学問的端緒を得るため人間性、教養、経験等関係する基本概念についての知識を得る。 ・人間の文化、社会について幅広く理解する。 ・論理的思考力を身につける。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1100101A1	教育学概論 II	・現代教育の基礎的事項について理解する。(知識・理解) ・現代教育に対する視野を広げる。(汎用的技能)	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1100103A1	人権と教育	「人権」理念の歴史的・原理的考察や現代日本の人権問題の検討から、一人一人の人間が大切にされる社会の可能性について考える。 ・人間の文化・社会についての幅広い知識を身につける。 ・市民としての社会的責任や、倫理観を身につける。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1100107A1	音楽概論	・楽典(音楽理論)の習得を通して、音楽の基本的構造と表記の理論について幅広く理解し、音楽聴取や音楽表現をするための基礎的スキルを身につける。 ・楽典に含まれる文化的な視点を含めて把握することにより、近代の西洋音楽文化および各国の民族音楽文化が、どのような音楽理論を背景として誕生・発展してきたのかを深く理解する。 ・グループ活動による協働作業を通して、自己と他者のアイデア等を共有し生かしながら、音楽理論から学んだ事柄を実際の音楽として創作し表現する力を身につける。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期	○	○	◎	
1100108A1	心の研究史 概論	①現代心理学の基調をなす、古代からの心理学の枠組みと諸説について理解し、自らの知的素養とすること、及び、②諸説の時代背景と論理的展開及び諸説間の論理的あるいは批判的関係をとらえることを最低限の目標とする。より進んだ学習として、③それらをもとに人間について考え発言できるようになること、そして、④現代の心理主義(行為や人間関係の原因を“心”に求める考え方)的風潮を批判しつつ、実生活・実社会への創造的関与が試みられるようになることを目標とする。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	

1100109A1	心理学概論	①人間の心の基本的な仕組みと働きについてどのように考えられてきて、現在どのように考えられているかを知る。②心理学の諸学派について理解し自らの知的素養とすること、③諸学派の時代背景と論理的展開及び諸説間の論理的あるいは批判的関係をとらえることを最低限の目標とする。より進んだ学習として、④それらをもとに人間について考え発言できるようになること、⑤諸学派を批判し問い直しつつ、新たな心理学を構想するための発想力を身につけることを目標とする。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎		
1100110A1	身体文化学概論	「身体」とは単に自然的な存在ではなく、文化的に構築されたものでもある。本授業では、文化的な存在として表象された「身体」に焦点を当て、大衆文化、ヴィジュアル・カルチャーに表現された「身体」の読み解きかたについて学習し、「文化」としての身体についての理解を深める。また基礎的な「身体文化学」の理論を学習する。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎		
1100076A1	哲学概論	パブリックアートをひとつのメディアとして捉え、「認識と実在」、「知覚と身体」、「歴史と記憶」、「公共性と社会」、「コミュニケーションと共同体」、「美的経験と人間形成」など、哲学の基本問題と基本概念についてアートを通して学ぶとともに(知識・理解)、そこで得られた視点・観点に基づいて、人間と社会の在り方について考える力を身につける(汎用的技能)。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎		
1100078A1	教育学概論 I	教育、人間形成の諸問題への学問的端緒を得るため人間性、教養、経験等関係する基本概念についての知識を得る。 ・人間の文化、社会について幅広く理解する。 ・論理的思考力を身につける。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎		
1100079A1	教育学概論 II	・現代教育の基礎的事項について理解する。(知識・理解) ・現代教育に対する視野を広げる。(汎用的技能)	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎		
1100081A1	人権と教育	「人権」理念の歴史的・原理的考察や現代日本の人権問題の検討から、一人一人の人間が大切にされる社会の可能性について考える。 ・人間の文化・社会についての幅広い知識を身につける。 ・市民としての社会的責任や、倫理観を身につける。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎		
1100083A1	音楽概論	・楽典(音楽理論)の習得を通して、音楽の基本的構造と表記の理論について幅広く理解し、音楽聴取や音楽表現をするための基礎的スキルを身につける。 ・楽典に含まれる文化的な視点を含めて把握することにより、近代の西洋音楽文化および各国の民族音楽文化が、どのような音楽理論を背景として誕生・発展してきたのかを深く理解する。 ・グループ活動による協働作業を通して、自己と他者のアイデア等を共有し生かしながら、音楽理論から学んだ事柄を実際の音楽として創作し表現する力を身につける。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		○	◎		

1100084A1	身体文化学概論	「身体」とは単に自然的な存在ではなく、文化的に構築されたものでもある。本授業では、文化的な存在として表象された「身体」に焦点を当て、大衆文化、ヴィジュアル・カルチャーに表現された「身体」の読み解きかたについて学習し、「文化」としての身体についての理解を深める。また基礎的な「身体文化学」の理論を学習する。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎		
1100085A1	児童文学概論	・児童文学とその歴史および文化的、社会的背景について、基礎的な知識を身につける。 ・児童文学作品を批評的、分析的に読む力を身につけ、任意の作品について、自分の言葉で論じることができる。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期	○	◎	◎		
1100086A1	子ども心理学概論	1. 教育心理学の基礎的知識(動機づけ、学習方略など)について理解できる。 2. 学校現場でのアセスメントと心理的支援の方法についての基礎的知識を得る。 3. 学校で生じうる問題について、心理学的な観点から考察することができる。	1回生以上 (平成26～30年度入学者)	前期		◎			
1100087A1	社会心理学概論	学生は社会心理学の基礎的な知見や理論を学び理解する。そして対人関係や社会の中での人間のあり方に関して自ら問いをたて、考える力を身につける。	1回生以上 (平成26年度以降平成29年度以前入学者)	前期		◎			
1100088A1	心理学概論	①人間の心の基本的な仕組みと働きについてどのように考えられてきて、現在どのように考えられているかを知る。②心理学の諸学派について理解し自らの知的素養とすること、③諸学派の時代背景と論理的展開及び諸説間の論理的あるいは批判的関係をとらえることを最低限の目標とする。より進んだ学習として、④それらをもとに人間について考え発言できるようになること、⑤諸学派を批判し問い直しつつ、新たな心理学を構想するための発想力を身につけることを目標とする。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎			
1100089A1	心の研究史概論	①現代心理学の基調をなす、古代からの心理学の枠組みと諸説について理解し、自らの知的素養とすること、及び、②諸説の時代背景と論理的展開及び諸説間の論理的あるいは批判的関係をとらえることを最低限の目標とする。より進んだ学習として、③それらをもとに人間について考え発言できるようになること、そして、④現代の心理主義(行為や人間関係の原因を“心”に求める考え方)的風潮を批判しつつ、実生活・実社会への創造的関与が試みられるようになることを目標とする。	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎			
1100090A1	社会・集団・家族心理学	学生は社会心理学の基礎的な知見や理論を学び理解する。そして対人関係や社会の中での人間のあり方に関して自ら問いをたて、考える力を身につける。	1回生以上 (平成30年度以降)	前期		◎			

1100091A1	発達心理学	人間の生涯にわたる発達的变化と各発達段階での特徴を理解し適切な支援を行ううえでの基礎的知識を習得するため、以下の項目を授業の到達目標とする。 ・人間の「発達」についての基礎的知識を理解する。 ・人間の発達にみられる「障害」についての基礎的知識を理解する。 ・支援において「発達」という枠組みから対象者を捉える視点とその意義を理解する。	1回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎		
1100092A1	教育・学校心理学	1. 教育心理学の基礎的知識(動機づけ、学習方略など)について理解できる。 2. 学校現場でのアセスメントと心理的支援の方法についての基礎的知識を得る。 3. 学校で生じうる問題について、心理学的な観点から考察することができる。		前期		◎		
1230114A2	哲学思想史特殊研究Ⅱ	日常性から出発して哲学に関する基本的な事項を学び、自己論・家族論・社会論へと掘り下げていくとともに(知識・理解)、具他的な事例に即してその内容を検討・吟味する力を身につける(汎用的技能)。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230115A2	倫理学特殊研究	市民の相互承認と連帯に基づく社会統合の可能性、社会保障と平等、デモクラシーと平等などの論点について基本的事項を理解するとともに(知識・理解)、それをもとに現実社会の諸問題を分析・検討する力を身につける(汎用的能力)。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230119A2	宗教学特殊研究	史跡あふれる奈良から宗教を考える。アジアの宗教を知ることによってグローバルな視野を獲得する。アジアの宗教状況を理解する。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期	◎	◎	○	
1230120A2	教育人間学特殊研究	木下竹次の学習法の理解を深めることにより、新教育運動の理論的基盤としてのその意義を理解する。 ・人間の文化、社会について幅広く理解する。 ・論理的思考力を身につける。 ・生涯学習力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230121A2	生涯教育学特殊研究	子どもの成長と自己形成を支える教育文化について、教育社会学、歴史社会学の視点から、家庭、学校、子ども文化、女性文化などの具体的なテーマにそって理解すると同時に、現代の教育文化の状況や課題について分析し展望する力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期集中		◎	◎	
1230125A2	教育社会学特殊研究	1. 教育社会学の諸理論について概要を理解し、現在の教育現象に適用して考察できるようになる。(知識・理解) 2. 教育を社会学的視点から複眼的に捉え、論理的かつ系統的に考察できるようになる。(汎用的技能)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230127A2	身体文化史特殊研究	事例としての「星野君の二壘打」の歴史的位置について理解を深めるとともに、歴史の中で作品(資料)を読む方法についても理解を深める。(知識・理解)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	

1230129A2	子ども史特殊研究	1. 戦前・戦後の子ども研究の基礎的事項について理解する(知識・理解)。2. 1を通じて「子ども」という存在、「教育」という営みの自明性について反省すると共に教育学全般に対する視野を広げる(汎用的技能)。3. グループワーク、全体討議を通じて、協調して知識を探求することを目指す(態度・志向性)。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	○	○
1230135A2	発達障がい心理学特殊研究	発達障害を中心とした障害児者への適切な教育的対応が求められており、各障害についての基礎知識を習得し適切な支援を行うため、以下の項目を授業の到達目標とする。 ・人間発達のメカニズムと障害生成のメカニズムとの関係について理解する。 ・各障害における特徴(障害特性)について理解し、支援における基本的対応を理解する。 ・今日の特別支援教育における課題と教育支援に求められる専門性について理解する。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230138A2	行動科学統計法Ⅰ(初等統計)	心理学に必要な統計処理の基礎を学び、統計法についての知識と理解を深める。データ収集の方法(サンプリング)、収集したデータを適切に統計処理し、結果を解釈するための知識を習得する。またデータ処理のための数的能力、情報処理能力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230139A2	行動科学統計法Ⅱ(初等統計)	目的に応じたデータ収集法、データに適切な検定方法を理解し、実際に検定を行ない、結果を正しく解釈し、レポートや論文などに記述するための知識と技能を習得する。心理学のデータを処理するために必要な数的能力と情報処理能力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230144A2	社会心理学特殊研究	社会心理学の基礎的な知見、理論を学ぶ。そして身近な問題について考えることを通じて、現代社会における人間のあり方について自ら考える力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230145A2	総合心理学特殊研究	学習心理学に関する理論とその教育実践的な応用を理解する。言語心理学に関する理論とその教育・発達の意義を理解する。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230147A2	発達心理学特殊研究	発達心理学においてコミュニケーションの発達にかかわって取り上げられる種々の要因について基礎的な理解を深めるとともに、それが発達の過程や私たちの日常的なコミュニケーション、さらには自他理解の形成等においてどのように機能しているのかについて具体的に考察できるようになる。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230154A2	認知心理学特殊研究	まず、認知心理学の基礎概念、方法論、理論、研究成果を知り、人間についての理解を深めることが最低限の学習目標である。そして、生活における様々な領域の問題群にそれらの適用を試み、自ら考えられるようになることが望ましい。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230155A2	臨床心理学特殊研究	臨床発達支援の専門性について理解する。臨床心理学・生涯発達心理学の知見と考え方を身につける。心理支援の方法について理解する。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期集中		◎	◎	

1230157A2	人格心理学 特殊研究	1)知識面：人格に関する諸理論の内容や成り立ちについて学ぶ。 2)探究面：人格に関する諸理論の意義や課題について検討する。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期集中		◎	◎	
1230160A2	教育心理学 特殊研究	1.モチベーション心理学の近年の理論と知見について説明できる。 2.モチベーションに関する現象について、心理学に基づいて説明できる。 3.モチベーションを高めるための手立てを、心理学に基づいて提案できる。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230163B2	哲学思想史 演習	学問分野や対象に特徴的な問題設定、方法論、論証の仕方などを理解したうえで(知識・理解)、自分自身の問題意識に即して、議論を展開する力を身につける(汎用的技能)。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230165B2	倫理学演習	テキストを正確・精密に読む力を身に付けるとともに(汎用的技能)、パスカルの多面的思考とその現代的意義について学ぶ(知識・理解)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230166B2	教育計画学 演習	1.良質の論文を読み込んで自分なりにまとめる。(汎用的技能) 2.1の作業を通じて、教育社会学の問題設定や方法論、考察や議論の展開について初歩的な体得を目指す。(知識・理解)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230167B2	教育人間学 演習	人間と空間の関わりへの哲学的人間学的、教育人間学的研究法について学習し、さらに人間の生の空間性に関わる諸問題についての理解を深める。 ・コミュニケーション・スキルを身につける。 ・論理的思考力を身につける。 ・問題解決力を身につける。 ・生涯学習力を身につける。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	○	○
1230168B2	教育史演習	美や芸術の教育的意義について思想史的検討を通じて原理的に考察できるようになること。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	
1230170B2	音楽表現演習	『呼吸法』及び『発声法』を身につけると同時に基礎的なソルフェージュ能力を習得する。(汎用的技能) 歌曲、合唱曲、宗教曲など様々な楽曲の演奏に際し、言語の理解と歌唱法、音楽表現を学ぶ。(知識・理解、汎用的技能) アンサンブル曲を学ぶことにより、アンサンブル曲の素晴らしさや、協調して行うアンサンブルの楽しさ、難しさを知る。(態度・志向性) 音楽史の流れに沿って楽曲を学ぶことにより、各時代の文化的歴史的背景、音楽様式、他分野芸術との関係性などを理解し、それらの知識を音楽表現に結び付けることが出来、且つ各曲について文章にまとめることが出来る。(知識・理解、汎用的技能) コードネームを理解し、その知識を音楽表現を考察する上で活かすことが出来る。(知識・理解、汎用的技能)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期	○	◎		◎

1230172B2	音楽教育演習	<ul style="list-style-type: none"> ・学校音楽における子どもと器楽のあり方を歴史的に把握し、子どもが演奏することの意義と課題に対する理解と考えを深める。 ・ピアノを通して、器楽演奏に関するテキスト分析の専門的な力量を着実に培うと共に、ピアノ演奏及び楽器演奏に必要な基本的な知識を習得し、理論的に捉える。 ・実際のピアノ実技やディスカッションを通して、ピアノの演奏法に関する知識や技能、ピアノ表現を理解し、ピアノ教育に対する考えを深めると共に、楽器演奏の特質について習得する。 	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎		◎
1230174B2	身体文化史演習	富田作品で描かれている少年像・少女像・スポーツ像について理解を深める。 (知識・理解) あわせて研究方法についても理解を深める。 (汎用的スキル)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230175B3	子ども臨床学プロジェクト演習Ⅰ	英文の学術誌を読めるようになるために、基本的な学術用語に慣れ、論文の読解力を身につける。同時に、心理学における知識の習得、活用、探究につなげる。英語論文における単語、文法、語法の知識の習得を最低限として、批判的に読解し、活用、探索へとつなげる理解力と思考力を養うことをより高度な目的とする。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230176B3	子ども臨床学プロジェクト演習Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語論文を独力で読み進める力を身につける 2. 研究の位置づけについて考える力を身につける 3. 英語論文をもとにした発表・議論する力を身につける 	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230177B3	総合心理学文献演習Ⅰ	英文の学術誌を読めるようになるために、基本的な学術用語に慣れ、論文の読解力を身につける。同時に、心理学における知識の習得、活用、探究につなげる。英語論文における単語、文法、語法の知識の習得を最低限として、批判的に読解し、活用、探索へとつなげる理解力と思考力を養うことをより高度な目的とする。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230178B3	総合心理学文献演習Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語論文を独力で読み進める力を身につける 2. 研究の位置づけについて考える力を身につける 3. 英語論文をもとにした発表・議論する力を身につける 	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230173B2	身体文化学演習	各自でテーマを立てて調査報告し(問題発見～解決能力)、ディスカッションを行い(コミュニケーション・スキル)、各自でミニ論文や記事を作成する(論文作成能力)。最終的にはそれを報告書という形で冊子化する。企画編集作業も行うこととなるだろう。総合的な能力を身につける機会を提供したいが、特に表現する能力の育成は重視したい。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		○	◎	○

1230179B3	教育学研究演習Ⅰ	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深める。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230180B3	教育学研究演習Ⅱ	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深める。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230181B3	哲学研究演習Ⅰ	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、具体的な研究テーマに即してその課題を考える力を養う(汎用的技能)。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230182B3	哲学研究演習Ⅱ	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、具体的な研究テーマに即してその課題を考える力を養う(汎用的技能)。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230183B3	身体文化学研究演習Ⅰ	身体文化学の研究対象や研究方法について理解を深める。資料収集、読解、理論化のプロセスを実体験し、卒業論文作成のための基礎的な能力を身につける。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230184B3	身体文化学研究演習Ⅱ	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230187B3	子ども臨床学研究演習Ⅰ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230188B3	子ども臨床学研究演習Ⅱ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230191B3	総合心理学研究演習Ⅰ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230192B3	総合心理学研究演習Ⅱ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎

1230193B3	総合心理学 研究演習Ⅰ	まず、①心理学的な事柄について問題意識を形成し、自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで基礎的知識と研究手法を得ること、また、心理学の専門論文を読み、それをまとめ、わかりやすく報告できるようになること、そして、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身の関心を確定し取り組みたいテーマとそのため方法を考えられるようになること。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230194B3	総合心理学 研究演習Ⅱ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究の計画が立てられるようになること	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230195B3	総合心理学 研究演習Ⅰ	まず、①心理学的な事柄について問題意識を形成し、自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで基礎的知識と研究手法を得ること、また、心理学の専門論文を読み、それをまとめ、わかりやすく報告できるようになること、そして、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身の関心を確定し取り組みたいテーマとそのため方法を考えられるようになること。	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230196B3	総合心理学 研究演習Ⅱ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究の計画が立てられるようになること	3回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230199D2	教育計画学 調査法実習Ⅰ	1. 教育調査の基礎的な知識や技法を身につける。(汎用的技能) 2. 1の知識・技法を用いて自らの問題関心に沿った教育調査を計画できる。(態度・志向性)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		○	◎	
1230200D2	教育計画学 調査法実習Ⅱ	1. 教育調査の基礎的な知識や技法を身につける。(汎用的技能) 2. 1の知識・技法を用いて自らの問題関心に沿ったデータ分析を企画立案・実施できる。(態度・志向性)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230201C2	心理学実験 実習	人間についての実証的研究を自ら行うための、基礎的な知識、技術、姿勢を身につけることがこの実習の目的である。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230202C2	心理学測定 検査法実習	人間についての実証的研究を自ら行うための、基礎的な知識、技術、そして、研究姿勢を身につけることがこの実習の目的である。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎

1230203D2	フィールド調査法実習	1) 公認心理師が活躍する職域についての基礎的知識を習得する。 2) 心理支援が行われるフィールドについての基礎的知識を習得する。 3) 公認心理師の職業倫理について理解を深める。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230207F4	教育学卒業演習Ⅰ	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深め、卒業論文の作成に取り組む。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230208F4	教育学卒業演習Ⅱ	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深め、卒業論文を完成させる。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230209F4	哲学卒業演習Ⅰ	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、卒業論文のテーマに即して、課題の明確化、方法の吟味、論証の筋道の明確化を図る(汎用的技能)。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230210F4	哲学卒業演習Ⅱ	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、卒業論文のテーマに即して、課題の明確化、方法の吟味、論証の厳密化を図る(汎用的技能)。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230211F4	身体文化学卒業演習Ⅰ	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230212F4	身体文化学卒業演習Ⅱ	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230214F4	子ども臨床学卒業演習Ⅰ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230215F4	子ども臨床学卒業演習Ⅰ	・各自の興味と関心に基づき、研究課題を設定することができる。 ・先行研究の批判的検討を通して、自身の課題意識、目的、方法を明確化し、研究計画を立案することができる。 ・社会的、教育的な意義を持つ卒業論文執筆に向けての準備および遂行ができる。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230217F4	子ども臨床学卒業演習Ⅱ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎

1230218F4	子ども臨床心理学卒業演習Ⅱ	・各自の興味と関心に基づき、研究課題を設定することができる。 ・先行研究の批判的検討を通して、自身の課題意識、目的、方法等を明確化し、研究計画を立案することができる。 ・社会的、教育的な意義を持つ卒業論文執筆に向けての準備および遂行ができる。	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230219F4	総合心理学卒業演習Ⅰ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230220F4	総合心理学卒業演習Ⅱ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230221F4	総合心理学卒業演習Ⅰ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで、関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて、自身が取り組む研究における実験または調査について、綿密な計画と準備ができるようになること。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230222F4	総合心理学卒業演習Ⅱ	①自身が行っている研究に関する研究論文を各自精読し発表することでその領域の知識を深めること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③それらを通して、自身で実験または調査を計画し実施し、結果を分析し、論文を書くことができるための基礎的知識と技術を習得すること。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230223F4	総合心理学卒業演習Ⅰ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究における実験または調査について綿密な計画と準備ができるようになること。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		◎	◎	◎
1230224F4	総合心理学卒業演習Ⅱ	①自身が行っている研究に関する研究論文を各自精読し発表することでその領域の知識を深めること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③それらを通して、自身で実験または調査を計画し実施し、結果を分析し、論文を書くことができるための基礎的知識と技術を習得すること。	3回生以上(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		◎	◎	◎
1230001A2	哲学特殊研究	日常性から出発して哲学に関する基本的な事項を学び、自己論・家族論・社会論へと掘り下げていくとともに(知識・理解)、具他的な事例に即してその内容を検討・吟味する力を身につける(汎用的技能)。	2回生以上(平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	

1230002A2	倫理学特殊研究	市民の相互承認と連帯に基づく社会統合の可能性、社会保障と平等、デモクラシーと平等などの論点について基本的事項を理解するとともに（知識・理解）、それをもとに現実社会の諸問題を分析・検討する力を身につける（汎用的能力）。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期		◎	◎	
1230005A2	宗教学特殊研究	史跡あふれる奈良から宗教を考える。アジアの宗教を知ることグローバルな視野を獲得する。アジアの宗教状況を理解する。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期	◎	◎	○	
1230006A2	教育人間学特殊研究	木下竹次の学習法の理解を深めることにより、新教育運動の理論的基盤としてのその意義を理解する。 ・人間の文化、社会について幅広く理解する。 ・論理的思考力を身につける。 ・生涯学習力を身につける。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期		◎	◎	
1230007A2	生涯教育学特殊研究	子どもの成長と自己形成を支える教育文化について、教育社会学、歴史社会学の視点から、家庭、学校、子ども文化、女性文化などの具体的なテーマにそって理解すると同時に、現代の教育文化の状況や課題について分析し展望する力を身につける。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期集中		◎	◎	
1230009A2	教育社会学特殊研究	1. 教育社会学の諸理論について概要を理解し、現在の教育現象に適用して考察できるようになる。（知識・理解） 2. 教育を社会学的視点から複眼的に捉え、論理的かつ系統的に考察できるようになる。（汎用的技能）	2回生以上（平成26年度以降入学者）	後期		◎	◎	
1230011A2	子ども史特殊研究	1. 戦前・戦後の子ども研究の基礎的事項について理解する（知識・理解）。2. 1を通じて「子ども」という存在、「教育」という営みの自明性について反省すると共に教育学全般に対する視野を広げる（汎用的技能）。3. グループワーク、全体討議を通じて、協調して知識を探究することを目指す（態度・志向性）。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期		◎	○	○
1230015A2	身体文化史特殊研究	事例としての「星野君の二墨打」の歴史的位置について理解を深めるとともに、歴史の中で作品（資料）を読む方法についても理解を深める。（知識・理解）	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期		◎	◎	
1230022E3	心理学研究法	1. 心理学の代表的な研究法について、その特質とプロセス、データを用いた実証的な思考方法について、熟知する。 2. 心理学の研究について、妥当性、信頼性、実践における意味などの点から、適切に評価することができる。 3. 研究倫理をふまえて、自らの研究テーマに関して、適切な研究法を選択し、研究計画を立案することができる。	2回生以上（平成26年度以降入学者）	前期		◎	◎	

1230023A2	認知心理学 特殊研究	まず、認知心理学の基礎概念、方法論、理論、研究成果を知り、人間についての理解を深めることが最低限の学習目標である。そして、生活における様々な領域の問題群にそれらの適用を試み、自ら考えられるようになることが望ましい。	2回生以上 (平成26年度以降平成29年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230024A2	発達心理学 特殊研究	発達心理学においてコミュニケーションの発達にかかわって取り上げられる種々の要因について基礎的な理解を深めるとともに、それが発達の過程や私たちの日常的なコミュニケーション、さらには自他理解の形成等においてどのように機能しているのかについて具体的に考察できるようにする。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	
1230025A2	教育心理学 特殊研究	1. モチベーション心理学の近年の理論と知見について説明できる。 2. モチベーションに関する現象について、心理学に基づいて説明できる。 3. モチベーションを高めるための手立てを、心理学に基づいて提案できる。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	
1230027A2	社会心理学 特殊研究	社会心理学の基礎的な知見、理論を学ぶ。そして身近な問題について考えることを通して、現代社会における人間のあり方について自ら考える力を身につける。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	
1230029A2	青年心理学 特殊研究	1. 青年心理学を理解するための現象を見つめる「視点」を理解する 2. 心理学における青年期の諸問題について理解する 3. 講義でとりあげた内容について、自分の日常生活内の事例を探ることができる 4. 各個人が自分自身の興味・関心に関連して、学習内容を発展させる	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期集中		◎	◎	
1230030A2	臨床心理学 特殊研究	臨床発達支援の専門性について理解する。 臨床心理学・生涯発達心理学の知見と考え方を身につける。 心理支援の方法について理解する。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期集中		◎	◎	
1230031A2	人格心理学 特殊研究	1) 知識面：人格に関する諸理論の内容や成り立ちについて学ぶ。 2) 探究面：人格に関する諸理論の意義や課題について検討する。	2回生以上 (平成26年度以降平成29年度以前入学者)	後期集中		◎	◎	
1230032A2	発達臨床心理学 特殊研究	発達障害を中心とした障害児者への適切な教育的対応が求められており、各障害についての基礎知識を習得し適切な支援を行うため、以下の項目を授業の到達目標とする。 ・人間発達のメカニズムと障害生成のメカニズムとの関係について理解する。 ・各障害における特徴（障害特性）について理解し、支援における基本的対応を理解する。 ・今日の特別支援教育における課題と教育支援に求められる専門性について理解する。	2回生以上 (平成26年度以降平成29年度以前入学者)	前期		◎	◎	

1230033A2	基礎心理学 特殊研究	学習心理学に関する理論とその教育実践的な応用を理解する。 言語心理学に関する理論とその教育・発達の意義を理解する。	2回生以上 (平成26年度以降平成29年度以前入学者)	後期		◎	◎	
1230034E2	心理学統計法 I	心理学に必要な統計処理の基礎を学び、統計法についての知識と理解を深める。データ収集の方法(サンプリング)、収集したデータを適切に統計処理し、結果を解釈するための知識を習得する。またデータ処理のための数的能力、情報処理能力を身につける。	2回生以上 (平成30年度以降)	前期		◎	◎	
1230035E2	心理学統計法 II	目的に応じたデータ収集法、データに適切な検定方法を理解し、実際に検定を行ない、結果を正しく解釈し、レポートや論文などに記述するための知識と技能を習得する。心理学のデータを処理するために必要な数的能力と情報処理能力を身につける。	2回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎	◎	
1230038A2	知覚・認知心理学	まず、認知心理学の基礎概念、方法論、理論、研究成果を知り、人間についての理解を深めることが最低限の学習目標である。そして、生活における様々な領域の問題群にそれらの適用を試み、自ら考えられるようになることが望ましい。	2回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎	◎	
1230039A2	産業・組織心理学	産業場面における人の行動を、産業・組織心理学の観点から説明できる(知識・理解) 産業組織における問題解決のために、産業・組織心理学に基づいた提言ができる(汎用的技能)	2回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎	◎	
1230040A2	感情・人格心理学	1) 知識面：人格に関する諸理論の内容や成り立ちについて学ぶ。 2) 探究面：人格に関する諸理論の意義や課題について検討する。	2回生以上 (平成30年度以降)	後期集中		◎	◎	
1230041A2	障害者・障害児心理学	発達障害を中心とした障害児者への適切な教育的対応が求められており、各障害についての基礎知識を習得し適切な支援を行うため、以下の項目を授業の到達目標とする。 ・人間発達のメカニズムと障害生成のメカニズムとの関係について理解する。 ・各障害における特徴(障害特性)について理解し、支援における基本的対応を理解する。 ・今日の特別支援教育における課題と教育支援に求められる専門性について理解する。	2回生以上 (平成30年度以降)	前期		◎	◎	
1230042A2	学習・言語心理学	学習心理学に関する理論とその教育実践的な応用を理解する。 言語心理学に関する理論とその教育・発達の意義を理解する。	2回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎	◎	
1230043A2	福祉心理学	福祉現場において取り組まれている必要な支援を学習し、公認心理師の立場から福祉と心理学の関連性を理解する。	2回生以上 (平成30年度以降)	後期		◎	◎	
1230056B2	哲学演習	学問分野や対象に特徴的な問題設定、方法論、論証の仕方などを理解したうえで(知識・理解)、自分自身の問題意識に即して、議論を展開する力を身につける(汎用的技能)。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	

1230057B2	倫理学演習	テキストを正確・精密に読む力を身に付けるとともに(汎用的技能)、パスカルの多面的思考とその現代的意義について学ぶ(知識・理解)	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	
1230058B2	教育社会学演習	1. 良質の論文を読み込んで自分なりにまとめる。(汎用的技能) 2. 1の作業を通じて、教育社会学の問題設定や方法論、考察や議論の展開について初歩的な体得を目指す。(知識・理解)	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	
1230059B2	教育人間学演習	人間と空間の関わりへの哲学的人間学的、教育人間学的研究法について学習し、さらに人間の生の空間性に関わる諸問題についての理解を深める。 ・コミュニケーション・スキルを身につける。 ・論理的思考力を身につける。 ・問題解決力を身につける。 ・生涯学習力を身につける。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	○	○
1230060B2	教育史演習	美や芸術の教育的意義について思想史的検討を通じて原理的に考察できるようになること。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	
1230061B2	音楽と子ども演習	・学校音楽における子どもと器楽のあり方を歴史的に把握し、子どもが演奏することの意義と課題に対する理解と考えを深める。 ・ピアノを通して、器楽演奏に関するテキスト分析の専門的な力量を着実に培うと共に、ピアノ演奏及び楽器演奏に必要な基本的な知識を習得し、理論的に捉える。 ・実際のピアノ実技やディスカッションを通して、ピアノの演奏法に関する知識や技能、ピアノ表現を理解し、ピアノ教育に対する考えを深めると共に、楽器演奏の特質について習得する。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎		◎
1230062B2	音楽教育学演習	『呼吸法』及び『発声法』を身につけると同時に基礎的なソルフェージュ能力を習得する。(汎用的技能) 歌曲、合唱曲、宗教曲など様々な楽曲の演奏に際し、言語の理解と歌唱法、音楽表現を学ぶ。(知識・理解、汎用的技能) アンサンブル曲を学ぶことにより、アンサンブル曲の素晴らしさや、協調して行うアンサンブルの楽しさ、難しさを知る。(態度・志向性) 音楽史の流れに沿って楽曲を学ぶことにより、各時代の文化的歴史的背景、音楽様式、他分野芸術との関係性などを理解し、それらの知識を音楽表現に結び付けることが出来、且つ各曲について文章にまとめることが出来る。(知識・理解、汎用的技能) コードネームを理解し、その知識を音楽表現を考察する上で活かすことが出来る。(知識・理解、汎用的技能)	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期	○	◎		◎

1230063B2	身体文化化学演習	各自でテーマを立てて調査報告し（問題発見～解決能力）、ディスカッションを行い（コミュニケーション・スキル）、各自でミニ論文や記事を作成する（論文作成能力）。最終的にはそれを報告書という形で冊子化する。企画編集作業も行うこととなるだろう。総合的な能力を身につける機会を提供したいが、特に表現する能力の育成は重視したい。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		○	◎	○
1230064B2	身体文化史演習	富田作品で描かれている少年像・少女像・スポーツ像について理解を深める。 (知識・理解) あわせて研究方法についても理解を深める。 (汎用的スキル)	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	
1230065B3	心理学文献演習 I	英文の学術誌を読めるようになるために、基本的な学術用語に慣れ、論文の読解力を身につける。同時に、心理学における知識の習得、活用、探究につなげる。英語論文における単語、文法、語法の知識の習得を最低限として、批判的に読解し、活用、探索へとつなげる理解力と思考力を養うことをより高度な目的とする。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230066B3	心理学文献演習 II	1. 英語論文を独力で読み進める力を身につける 2. 研究の位置づけについて考える力を身につける 3. 英語論文をもとにした発表・議論する力を身につける	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230069B3	哲学研究演習 I	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、具体的な研究テーマに即してその課題を考える力を養う(汎用的技能)。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230070B3	哲学研究演習 II	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解)、具体的な研究テーマに即してその課題を考える力を養う(汎用的技能)。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230067B3	教育学研究演習 I	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深める。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230068B3	教育学研究演習 II	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深める。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230071B3	音楽研究演習 I	1. 論文を精読し、正確に報告し、自分の視点から論点を立て、議論する能力を養う。 2. 研究目的に応じて、適切に問題と方法を選択設定し、整合性のある研究計画を立案する能力を養う。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎

1230072B3	音楽研究演習Ⅱ	1. 論文を精読し、正確に報告し、自分の視点から論点を立てて議論する能力を養う。 2. 生産的な討論に向けて、貢献する能力を養う。 3. 研究目的を明確化し、適切に方法を設定し、構造化された研究計画を立案する能力を養う。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230073B3	身体文化学研究演習Ⅰ	身体文化学の研究対象や研究方法について理解を深める。資料収集、読解、理論化のプロセスを実体験し、卒業論文作成のための基礎的な能力を身につける。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230074B3	身体文化学研究演習Ⅱ	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし、創造的な思考力を身につける。 ・問題発見、解決能力を身につける。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230075B3	心理学研究演習Ⅰ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230077B3	心理学研究演習Ⅰ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230079B3	心理学研究演習Ⅰ	まず、①心理学的な事柄について問題意識を形成し、自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで基礎的知識と研究手法を得ること、また、心理学の専門論文を読み、それをまとめ、わかりやすく報告できるようになること、そして、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身の関心を確定し取り組みたいテーマとそのための方をを考えられるようになること。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230081B3	心理学研究演習Ⅰ	まず、①心理学的な事柄について問題意識を形成し、自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで基礎的知識と研究手法を得ること、また、心理学の専門論文を読み、それをまとめ、わかりやすく報告できるようになること、そして、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身の関心を確定し取り組みたいテーマとそのための方をを考えられるようになること。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230076B3	心理学研究演習Ⅱ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める。	3回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎

1230078B3	心理学研究演習Ⅱ	心理学の研究法に習熟するとともに、「研究」という営為の持つ意義について理解を深める。	3回生以上 (平成26年度以降入学 者)	後期		◎	◎	◎
1230080B3	心理学研究演習Ⅱ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究の計画が立てられるようになること	3回生以上 (平成26年度以降入学 者)	後期		◎	◎	◎
1230082B3	心理学研究演習Ⅱ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究の計画が立てられるようになること	3回生以上 (平成26年度以降入学 者)	後期		◎	◎	◎
1230083D2	教育学・人間学実習Ⅰ	教育学・人間学コースのそれぞれの分野(教育学、哲学、音楽、身体文化学)でどのような対象をテーマとして取り扱うことができるのか、またその際の方法とはいかなるもので、それぞれにどのような違いがあり、それぞれでテーマの何が明らかになるのか、について学ぶ。各自の今後の分野選択～研究テーマの決定の際に、自らで考えることができるための基礎的な知識の獲得、判断力や思考力の養成を目指している。	2回生以上 (平成26年度以降入学 者)	前期		◎	◎	○
1230084D2	教育学・人間学実習Ⅱ	・教育学・人間学コースで研究を進めるうえでの適切な知識と方法、技術を身につける。 ・自ら課題を見つけ、情報を収集して課題を解決できる資質を体得する。	2回生以上 (平成26年度以降入学 者)	前期		◎	◎	○
1230085D2	教育社会学調査法実習Ⅰ	1. 教育調査の基礎的な知識や技法を身につける。(汎用的技能) 2. 1の知識・技法を用いて自らの問題関心に沿った教育調査を計画できる。(態度・志向性)	2回生以上 (平成26年度以降入学 者)	前期		○	◎	
1230086D2	教育社会学調査法実習Ⅱ	1. 教育調査の基礎的な知識や技法を身につける。(汎用的技能) 2. 1の知識・技法を用いて自らの問題関心に沿ったデータ分析を企画立案・実施できる。(態度・志向性)	2回生以上 (平成26年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230088C2	心理学測定検査法実習	人間についての実証的研究を自ら行うための、基礎的な知識、技術、そして、研究姿勢を身につけることがこの実習の目的である。	2回生以上 (平成26年度以降入学 者)	後期		◎	◎	◎
1230090C2	心理学実験	人間についての実証的研究を自ら行うための、基礎的な知識、技術、姿勢を身につけることがこの実習の目的である。	2回生以上 (平成30年度以降)	前期		◎	◎	◎

1230091D3	心理実習 A	1) 公認心理師が活躍する職域についての基礎的知識を習得する。 2) 心理支援が行われるフィールドについての基礎的知識を習得する。 3) 公認心理師の職業倫理について理解を深める。	3回生以上 (平成30年度以降)	前期		◎	◎	◎
1230094F4	哲学卒業演習 I	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解), 卒業論文のテーマに即して, 課題の明確化, 方法の吟味, 論証の筋道の明確化を図る(汎用的技能)。	4回生(平成26年度以降 入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230095F4	哲学卒業演習 II	哲学・倫理学・宗教学・芸術学など思想文化の研究対象や研究方法について理解を深め(知識・理解), 卒業論文のテーマに即して, 課題の明確化, 方法の吟味, 論証の厳密化を図る(汎用的技能)。	4回生(平成26年度以降 入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230092F4	教育学卒業演習 I	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深め, 卒業論文の作成に取り組む。	4回生(平成26年度以降 入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230093F4	教育学卒業演習 II	教育学の研究対象や研究方法に関する理解を深め, 卒業論文を完成させる。	4回生(平成26年度以降 入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230096F4	音楽卒業演習 I	・各自の興味と関心に基づき, 研究課題を設定することができる。 ・先行研究の批判的検討を通して, 自身の課題意識, 目的, 方法等を明確化し, 研究計画を立案することができる。 ・社会的, 教育的な意義を持つ卒業論文執筆に向けての準備および遂行ができる。	4回生(平成26年度以降 入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230097F4	音楽卒業演習 II	・各自の興味と関心に基づき, 研究課題を設定することができる。 ・先行研究の批判的検討を通して, 自身の課題意識, 目的, 方法等を明確化し, 研究計画を立案することができる。 ・社会的, 教育的な意義を持つ卒業論文執筆に向けての準備および遂行ができる。	4回生(平成26年度以降 入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230098F4	身体文化学卒業演習 I	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし, 創造的な思考力を身につける。 ・問題発見, 解決能力を身につける。	4回生(平成26年度以降 入学者)	前期	○	◎	◎	◎
1230099F4	身体文化学卒業演習 II	卒業論文を作成する。 ・総合的な学習経験をし, 創造的な思考力を身につける。 ・問題発見, 解決能力を身につける。	4回生(平成26年度以降 入学者)	後期	○	◎	◎	◎
1230100F4	心理学卒業演習 I	自分の問題を他者に伝える力, それに関する情報を集める力, 研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成26年度以降 入学者)	前期		◎	◎	◎

1230102F4	心理学卒業演習Ⅰ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230104F4	心理学卒業演習Ⅰ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで、関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて、自身が取り組む研究における実験または調査について、綿密な計画と準備ができるようになること。	4回生(平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230106F4	心理学卒業演習Ⅰ	①自身の関心から各自研究論文を精読し発表することで関心領域の知識と研究手法を得ること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③自他の発表と授業外の文献検索を通じて自身が取り組む研究における実験または調査について綿密な計画と準備ができるようになること。	4回生(平成26年度以降入学者)	前期		◎	◎	◎
1230101F4	心理学卒業演習Ⅱ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230103F4	心理学卒業演習Ⅱ	自分の問題を他者に伝える力、それに関する情報を集める力、研究計画を立案する力を身につける。	4回生(平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230105F4	心理学卒業演習Ⅱ	①自身が行っている研究に関する研究論文を各自精読し発表することでその領域の知識を深めること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③それらを通して、自身で実験または調査を計画し実施し、結果を分析し、論文を書くことができるための基礎的知識と技術を習得すること。	4回生(平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230107F4	心理学卒業演習Ⅱ	①自身が行っている研究に関する研究論文を各自精読し発表することでその領域の知識を深めること、②他の履修生の発表を聞き、積極的に質問または討論し、様々な研究領域についても基本的枠組みを理解すること、③それらを通して、自身で実験または調査を計画し実施し、結果を分析し、論文を書くことができるための基礎的知識と技術を習得すること。	4回生(平成26年度以降入学者)	後期		◎	◎	◎
1230227F4	卒業論文	卒業論文作成	4回生(平成20年度以降平成25年度以前入学者)	その他		◎	◎	◎

1230228F4	卒業論文	研究方法（文献研究、データ収集、研究計画、観察・調査・実験、データ分析）と研究論文執筆を習得することが目的である。そのため、課題設定、研究計画、研究実施、データ整理、学術誌掲載論文の形式に基論文執筆を自身で行い、期日内に提出し、論文についての口頭試問を受け、卒業研究発表会にて研究発表することが、単位取得の最低要件である。ただし、課題設定、研究計画、研究実施、論文執筆すべてにおいて、研究の倫理性と妥当性と論理性が求められる。心理学の研究実施は、研究参加者（研究協力者）を必要とするため、研究の倫理と妥当性が強く求められる。それゆえ、卒業研究の前段階として、心理学の教員によって実施を認められた予備研究（「春研究」など）を行い、報告論文を提出することを、卒業研究実施の前提として義務づけている。	4回生（平成20年度以降平成25年度以前入学者）	その他		◎	◎	◎
1230229F4	卒業論文	研究方法（文献研究、データ収集、研究計画、観察・調査・実験、データ分析）と研究論文執筆を習得することが目的である。そのため、課題設定、研究計画、研究実施、データ整理、学術誌掲載論文の形式に基論文執筆を自身で行い、期日内に提出し、論文についての口頭試問を受け、卒業研究発表会にて研究発表することが、単位取得の最低要件である。ただし、課題設定、研究計画、研究実施、論文執筆すべてにおいて、研究の倫理性と妥当性と論理性が求められる。心理学の研究実施は、研究参加者（研究協力者）を必要とするため、研究の倫理と妥当性が強く求められる。それゆえ、卒業研究の前段階として、心理学の教員によって実施を認められた予備研究（「春研究」など）を行い、報告論文を提出することを、卒業研究実施の前提として義務づけている。	4回生（平成20年度以降平成25年度以前入学者）	その他		◎	◎	◎
1230111F4	卒業論文	卒業論文作成	4回生（平成26年度以降入学者）	その他		◎	◎	◎
1230112F4	卒業論文	研究方法（文献研究、データ収集、研究計画、観察・調査・実験、データ分析）と研究論文執筆を習得することが目的である。そのため、課題設定、研究計画、研究実施、データ整理、学術誌掲載論文の形式に基論文執筆を自身で行い、期日内に提出し、論文についての口頭試問を受け、卒業研究発表会にて研究発表することが、単位取得の最低要件である。ただし、課題設定、研究計画、研究実施、論文執筆すべてにおいて、研究の倫理性と妥当性と論理性が求められる。心理学の研究実施は、研究参加者（研究協力者）を必要とするため、研究の倫理と妥当性が強く求められる。それゆえ、卒業研究の前段階として、心理学の教員によって実施を認められた予備研究（「春研究」など）を行い、報告論文を提出することを、卒業研究実施の前提として義務づけている。	4回生（平成26年度以降入学者）	その他		◎	◎	◎

1230244A2	社会	社会科の内容の枠組みについて深く学び(知識・理解), それを通して, 児童の「社会的事象の見方・考え方」を育成するために必要な教師自身の主体的な問題意識を深める(態度・志向性)と同時に, 社会的事象や課題について多角的・批判的に考える力を身につける(汎用的技能)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230245A2	国語	授業の到達目標及びテーマ ・国語に対する認識を深め、自らの言語運用力を高める。 ・言葉の特徴と使い方に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。 ・文学的教材に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230246A2	算数	児童に育成すべき算数・数学の概念、教材開発の視点、数学的な見方や考え方を身につけるために、小学校1学年から6学年までの教科書を使って、内容の理解を深める。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		○	◎	
1230247A2	理科	「物質・エネルギー」「生命・地球」の主な教材を説明することができる。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230248A2	図画工作	1. 小学校学習指導要領図画工作科に示されている目標や、学年目標、内容構成(A表現、B観賞、C共通事項)を説明できる(知識・理解)。 2. 図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表す」「造形遊び」「観賞学習」の授業をデザインし、運営できる(技能・表現)。 3. 児童が興味を持ち、楽しみながら成長できる授業を考え出すことができる(思考・判断)。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期集中		○	◎	
1230249D2	音楽 I	1. 音楽の多様なあり方を理解し、基礎的な音楽的能力を習得することができる。 2. 楽典の習得を通して、基礎的な音楽の構造と表記の理論について理解することができる。 3. 合唱及びアンサンブルの実技を通して、初歩的な演奏技能を習得し、楽曲解釈の能力を養うことができる。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230251A2	体育	1. 小学校体育科の学習内容の概要を理解する。 2. 運動の特性とそれに応じた教材の見方・考え方について理解を深める。 3. 運動の課題発見とその解決の方法(分析とその結果に基づく課題解決方法)について理解する。 4. 保健の教材研究についても理解を深める。 (知識・理解)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	前期		○	◎	

1230253A2	生活	本授業では、われわれが日常「生活」し、見慣れてしまった地域社会を新しい「まなざし」で見、その魅力に再び「気づき」、深い学習に至る、そのための実践の方法を学ぶことを目標とする。そうした実践を通じて地域社会と自らの新しい関わり方を見出すことができるようになること、またそうした自分自身の気づきを他者に伝え、共有し、協働的に学びを深めてゆくことが目指されている。そのためにグループで「じぶんたちマップ」を作成してもらおうが、それによってそうした学習をきちんと表現できるようになることも目標である。こうした作業を通して新しい社会と自分とのつながりを見出すとともに、対話的な作業の中から、他者の気づきにきちんと反応し、またそれをお互いに深めてゆくためには何が必要であるのかについても、実際に体験をしながら学習してもらいたい。	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230255A1	社会教育論	極めて曖昧な概念と言える“社会教育”にかかわる諸問題を教員及び受講者とともに様々な角度から検討していくことで、“社会教育”のみならず、他の学問領域や社会現象に関わる諸問題についても深く考えてゆく。	1回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期集中		○	◎	
1230230A2	社会	社会科の内容の枠組みについて深く学び(知識・理解)、それを通して、児童の「社会的事象の見方・考え方」を育成するために必要な教師自身の主体的な問題意識を深める(態度・志向性)と同時に、社会的事象や課題について多角的・批判的に考える力を身につける(汎用的技能)	2回生以上 (平成20年度以降平成25年度以前入学者)	後期		○	◎	
1230231A2	国語	授業の到達目標及びテーマ ・国語に対する認識を深め、自らの言語運用力を高める。 ・言葉の特徴と使い方に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。 ・文学的教材に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		○	◎	
1230232A2	算数	児童に育成すべき算数・数学の概念、教材開発の視点、数学的な見方や考え方を身につけるために、小学校1学年から6学年までの教科書を使って、内容の理解を深める。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		○	◎	
1230233A2	理科	「物質・エネルギー」「生命・地球」の主な教材を説明することができる。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		○	◎	
1230234A2	図画工作	1. 小学校学習指導要領図画工作科に示されている目標や、学年目標、内容構成(A表現、B観賞、C共通事項)を説明できる(知識・理解)。 2. 図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表す」「造形遊び」「観賞学習」の授業をデザインし、運営できる(技能・表現)。 3. 児童が興味を持ち、楽しみながら成長できる授業を考え出すことができる(思考・判断)。	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期集中		○	◎	

1230235D2	音楽	<p>1. 音楽の多様なあり方を理解し、基礎的な音楽的能力を習得することができる。</p> <p>2. 楽典の習得を通して、基礎的な音楽の構造と表記の理論について理解することができる。</p> <p>3. 合唱及びアンサンブルの実技を通して、初歩的な演奏技能を習得し、楽曲解釈の能力を養うことができる。</p>	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		○	◎	
1230236A2	体育	<p>1. 小学校体育科の学習内容の概要を理解する。</p> <p>2. 運動の特性とそれに応じた教材の見方・考え方について理解を深める。</p> <p>3. 運動の課題発見とその解決の方法(分析とその結果に基づく課題解決方法)について理解する。</p> <p>4. 保健の教材研究についても理解を深める。 (知識・理解)</p>	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	前期		○	◎	
1230238A2	生活	<p>本授業では、われわれが日常「生活」し、見慣れてしまった地域社会を新しい「まなざし」で見、その魅力に再び「気づき」、深い学習に至る、そのための実践の方法を学ぶことを目標とする。そうした実践を通じて地域社会と自らの新しい関わり方を見出すことができるようになること、またそうした自分自身の気づきを他者に伝え、共有し、協働的に学びを深めてゆくことが目指されている。そのためにグループで「じぶんたちマップ」を作成してもらおうが、それによってそうした学習をきちんと表現できるようになることも目標である。こうした作業を通して新しい社会と自分とのつながりを見出すとともに、対話的な作業の中から、他者の気づきにきちんと反応し、またそれをお互いに深めてゆくためには何が必要であるのかについても、実際に体験をしながら学習してもらいたい。</p>	2回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期		○	◎	
1230239A2	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で英語を指導するための実践的な英語運用力を身につける。 ・ 英語および第二言語習得に関する基本的な知識を身につける。 ・ 児童文学および異文化理解に関する基本的な知識を身につける。 	1回生以上 (平成30年度以前入学者)	前期		○	◎	
1230241A1	社会教育論	<p>極めて曖昧な概念と言える“社会教育”にかかわる諸問題を教員及び受講者とともに様々な角度から検討していくことで、“社会教育”のみならず、他の学問領域や社会現象に関わる諸問題についても深く考えてゆく。</p>	1回生以上 (平成26年度以降入学者)	後期集中		○	◎	
1230256A1	教職論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の学校教育の歴史を踏まえ、今日の学校と教職の社会的意義を理解する。 ・ 教育の今日的動向を踏まえ、教員に求められる役割や資質能力を理解する。 ・ 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。 ・ 学校の担う役割が拡大・多様化する中で教師が直面する様々な困難を踏まえ、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。 	1回生以上 (平成31年度以降入学者)	前期		◎	◎	

1230272A1	国語	授業の到達目標及びテーマ ・国語に対する認識を深め、自らの言語運用力を高める。 ・言葉の特徴と使い方に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。 ・文学的教材に関する理解を深め、教科指導に生かすことができる。	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230273A1	社会	社会科の内容の枠組みについて深く学び(知識・理解)、それを通して、児童の「社会的事象の見方・考え方」を育成するために必要な教師自身の主体的な問題意識を深める(態度・志向性)と同時に、社会的事象や課題について多角的・批判的に考える力を身につける(汎用的技能)	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230275A1	理科	「物質・エネルギー」「生命・地球」の主な教材を説明することができる。	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230276A1	生活	本授業では、われわれが日常「生活」し、見慣れてしまった地域社会を新しい「まなざし」で見、その魅力に再び「気づき」、深い学習に至る、そのための実践の方法を学ぶことを目標とする。そうした実践を通じて地域社会と自らの新しい関わり方を見出すことができるようになること、またそうした自分自身の気づきを他者に伝え、共有し、協働的に学びを深めてゆくことが目指されている。そのためにグループで「じぶんたちマップ」を作成してもらおうが、それによってそうした学習をきちんと表現できるようになることも目標である。こうした作業を通して新しい社会と自分とのつながりを見出すとともに、対話的な作業の中から、他者の気づきにきちんと反応し、またそれをお互いに深めてゆくためには何が必要であるのかについても、実際に体験をしながら学習してもらいたい。	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230277A1	音楽	1. 音楽の多様なあり方を理解し、基礎的な音楽的能力を習得することができる。 2. 楽典の習得を通して、基礎的な音楽の構造と表記の理論について理解することができる。 3. 合唱及びアンサンブルの実技を通して、初歩的な演奏技能を習得し、楽曲解釈の能力を養うことができる。	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期		○	◎	
1230281A1	英語	・小学校で英語を指導するための実践的な英語運用力を身につける。 ・英語および第二言語習得に関する基本的な知識を身につける。 ・児童文学および異文化理解に関する基本的な知識を身につける。	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	前期		○	◎	
1230293A1	健康	幼稚園教育要領の領域「健康」に関して、そのねらい、内容、内容の取扱いについて概括的に理解するとともに、特に幼児の運動及び運動遊びについて理解を深める。テーマは運動遊びを中心にした領域「健康」の教材研究である。(知識・理解)	1回生以上 (平成31年度以降入学 者)	後期前半		○	◎	

1230294A1	人間関係	幼稚園教育要領の領域「人間関係」の基盤となる幼児の人と関わる力の育ちについての専門的事項を理解する。具体的には、身近な大人や友だちなどとの人間関係の発達について学び、説明できるようになる。また集団との関わりの中での道徳性や規範意識の芽生えと発達について学び説明できるようになる。	1回生以上 (平成31年度以降入学者)	後期後半		○	◎	
-----------	------	---	------------------------	------	--	---	---	--